研究通信

氷川町立竜北西部小学校 令和6年 8月30日(金) No. 4 研究主任 俵



それぞれの部会での具体的な取組

学習基盤形成部会

(1)教育活動の基礎となる読書活動の充実に向けて 【各クラスの取組】

☆グラフ「読書量調査」への記入及び掲示

- ・読んだ冊数の色を塗り、読んだ本の冊数を分かるようにする。
- ・担任は、クラスで図書室に行く日を決めて一斉に図書室の利用をさ せたり、貸出数の少ない児童への声掛けや働きかけを行ったりする。

【図書委員会の取組】

☆月末に貸し出し数(目標値に対する貸し出し数の割合)の掲示

- ・グラフの作成及び達成率に対してのシール(しるし)をはる。
- ・進捗状況を定期的に校内放送で知らせる。

(2) 学習の規範意識の向上に向けた「学習のきまり」の共通実践

☆「学習のきまりチェック」の実施(話の聞き方・返し方)

- ・担任は毎週水曜日、フッ化物洗口の後に、「学習のきまりチェック表」 に数を記入
- ・進捗状況を定期的に校内放送で知らせる。
- (3) 家庭での学習習慣形成を促す組織的・継続的な取組の推進

☆「学習の手引き」の活用

・2学期はじめに家庭に配布、説明

☆発達段階に応じた宿題の実施

- ・各学年の宿題の「見える化」
- ・職員室に掲示「宿題状況確認表」
- ・各学年の宿題の状況を確認できるようにし、調整したり、参考にしたり する。

☆土・日の家庭学習の計画作成、振り返りの実施

- ・土・日の学習計画表への記入→木曜日の朝の時間
- ・休日翌日に担任がチェック

(4) ICTスキルの向上

☆「タイピング検定」の実施、記録証の配布

- ・各学年のお手本の準備(各学年済み)、認定証の作成(学年担当)
- ・検定結果のお知らせ

授業力向上部会

(1)振り返りの視点の共通理解・授業振り返りチェックシート

【学校全体での取組】

☆「ふり返りの名人」の掲載

・教科・単元問わず、振り返りのモデル (ノートや発表ノートなどをコピーしたもの)を各 学年の教室もしくは教室前廊下に掲示し、自分の学年だけでなく、他学年のものも 見られるように回していく。

【職員の取組】

☆「授業振り返りチェックシート反省・考察」の実施

- ・1 学期終わり(7月下旬)、2学期中間(10月中旬)、2学期終わり(12月中旬)、3 学期終わり(3月上旬に授業振り返りチェックシートを回答し、集計した後、反省・考 察を行う。
- ・また、研究授業でのチェックシートを分析し、反省や考察を校内研修やミライムで周 知する。

(2)板書向上委員会

【職員の取組】

☆「板書向上委員会」の実施

・月に1回投稿を目標に取り組む。投稿したものは、ミライム等でお知らせする。

(3) ICTを効果的に活用した授業実践・共有

【職員の取組】

- ・月に1回投稿を目標に取り組む。投稿したものは、ミライム等でお知らせする。
- (4) 学びを深めるための「問い返し」・聴き合いタイムの在り方

【学校全体での取組】

☆どの教科でも活用できる「問い返し」一覧

・まとめたものを教卓に貼り、いつでも見ることができるようにする。

☆「聴き合いタイム」の在り方

- ・「聴き合いタイム」とは、
 - →わからない、もっと知りたいことをペアやグループにとらわれない形態で聴き合う
- ・低学年は、「ばっちり」「もう少し」「聞きたい」の言葉で表す。
- ・中・高学年は、「自信あり」「自信なし」「聞きたい」の言葉で表す。
- ・タブレットを使わない授業の場合は、「自信あり」「自信なし」「聞きたい」なのか全 体に聞いて、ききに行くようにする。

